

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	理念については、開設当初の職員と相談し作り上げており、新人職員が入社した際や年1回理念の再確認のために説明している。今年度に入り職員を採用したので、再度理念の共有や意義の説明が必要である。	職員会議にて理念の意義や方向性を説明し、職員へ働きかける。	理念の意味や方向性を定めていく為に、職員会議などで再度説明し、意識を共有していく。	1ヶ月
2	1 (2)	納涼祭を開催するなど、事業所行事に来ていただけるよう機会を作っているが、地域の方と日常的に交流しているとは言えない。事業所側から地域の行事やイベントなどに積極的に出向き、関わりを持つ必要があると感じている。	地域のイベントに目を向け、参加できるようにする。	市や民生委員の方などから情報を頂き、こちらから参加できそうなものや協力の必要な事柄を聞く。 まずは、こちら側から出向き関係を作る。	12ヶ月
3	4 (3)	運営推進会議を行っていない。	ご家族や入居者の方、民生委員や市の方など日程を調整して開催し、その後は定期的に行なっていく。	お越しいただける方の日程調整を行い、ご家族にも相談させてもらい、参加していただく。	3ヶ月
4	6 (5)	身体拘束の研修は、今後行なう予定である。	一人一人が禁止の対象となる具体的な行為を理解できるような研修を行なう。	抑制や虐待も含め、身体拘束の研修を事業所の研修計画に盛り込み、実施する。	6ヶ月
5	35 (13)	前年度より地震・水害時想定避難訓練を行っている。隣接する消防署との協力体制が出来ているので、地域の協力を得るまでに至っていないが、災害時は消防署にのみ頼るわけにもいかない為、地域との協力体制も必要である。	防災に関しての地域との協力体制を築く。	地域の防災訓練に職員が参加するところから地域との関わりを持つよう努める。お互いの防災意識を高められるようする。	12ヶ月